

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月6日

事業所名 animo

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改修目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1	活動スペースに限りがあるため使い方に工夫が必要と感じる	スタッフ間で、机上課題やフロアの時間など話し合いを行い、スペースの使い方を工夫しています。
	2	職員の配置数は適切である	8			職員配置は基本人員に加え、2名以上の加配人員を配置しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	2	・部屋分けがわかりやすい ・利用児が登れる場所が多くあるように感じる ・部屋名や備品名などの提示ができていないため分かりにくい	事業所全体がバリアフリーではないため、事業所内ルールをスタッフをはじめ、利用児や保護者様とも共有を行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7			毎朝の掃除、利用児との掃除や整理整頓を常に行なっています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7	1	全利用児の詳細を把握はできていないと感じる	計画的にケース共有の時間を設定し、支援に反映できるようより一層努めています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			日頃より、送迎時に保護者様とのコミュニケーションをとっています。必要時は事業所内相談を行っています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			定期的な情報提供は行なっているも、人員変更等のみの場合も多く、今後は支援内容や改善を含めた情報発信も行なっていきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		8		第三者による外部評価は行えていないため、今後対応をしていきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		研修の頻度を増やしていきたい	今後はより事業所内・外の研修を取り入れスタッフ一同研鑽していきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8			児童発達支援管理責任者を中心に、日々情報共有をしながら、支援計画に反映しています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8			利用児の特性に応じた評価を行なっているものの、統一したツールの活用には至っていないのが今後の課題と考えます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8			発達支援、家族支援は常に意識し療育に取り組んでいるものの、地域支援の部分では活動ができていない現状があります。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8			療育毎に情報共有を行なっています。月に1回以上は支援計画をもとに療育内容の見直しや情報共有のケースミーティングを行っています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			上記同様にケースミーティング内でのプログラム立案を行なっています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			前回内容は担当同士の申し送りをし、固定化しない工夫をしています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8			時間帯や利用児の状況によっては、集団活動の組み合わせができていない現状があります。今後は曜日の調整等も含め、支援計画を作成していきます。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			情報共有は行えています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	日により共有時間を設けられないこともあった	利用状況により、共有が難しい場合は計画を組み共有を図っていきます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			記録の整備は行えています。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8			月に1回は全利用児のミーティングを行なっています。	
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			児童発達支援管理責任者が基本的に出席しているものの、今後は実際に支援に入っているスタッフの出席や出席も考慮していきます。	
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7			適切に連携をとる努力を継続していきます。	
23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている					

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7			情報共有は随時行なっています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5			開設初年度のため、今年度移行する児童に関しては現在情報共有を行なっています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1		外部研修の部分が不足しているため、改善していきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	1		機会を明確に設けていない現状があります。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	8			参加しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			送迎の時間や必要時に応じて相談の時間を設け、情報共有をしています。さらに密になれるように努力していきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7	1		さらに積極的なプログラム立案の必要性を感じています。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1		行なっています。今後も継続して丁寧な説明に努めていきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8			同意を得ています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			同席できない保護者様に関しても、月に1回以上はご来所していただくような声掛けを行なっています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8			保護者会は開催できたものの、児童発達支援利用児の保護者様の出席は少なかった。今後は早めにスケジュール等を調整し参加を促していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8			対応できる体制を整えています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	2		会報の発行は今後の課題としています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8			運営するにあたり事業所内での個人情報の取り扱いには十分な注意を行っています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			児童の前で説明ができない場面などあるため、状況に応じて、定期面談同様に計画的にご説明の場を設定し情報共有を行っています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	1		まだ不十分な部分はありますが、地域行事への参加はできています。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	1	
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1		訓練は行っているものの、非常勤を含めた共有に課題があると感じています。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	1		医療情報の確認は行なっていますが、内服薬の変更や飲むタイミング等の把握ができていない事例があったため、保護者様やスタッフ間での情報共有を怠らないよう
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	1		医療情報の確認は行なっています。アナフィラキシー対応の研修を行なっています。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			記載数が少ないため、今後もっと啓発が必要と考えます。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			研修を行なっています。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8			支援計画をもとに適切に運用しています。